

相模原市では 宅配便の再配達削減を 呼びかけています。

再配達の削減はCO₂排出削減だけではなく、宅配事業者の労働力不足や長時間労働が改善し、物流に伴うコストの削減にも貢献します。宅配便の送り方や受け取り方を工夫して再配達にならないように気をつけましょう。



なぜ？

再配達の削減が必要な？

再配達による労働生産性への影響を調べたところ、
約1.8億時間が1年間の不在配達に費やされています。
1日の平均労働時間を8時間、年間労働日数250日とすると、
年間9万人の労働力に相当します。(※)

※出典：国土交通省 宅配の再配達の削減に向けた受取方法の多様化の促進等に関する検討会 報告書(2015年9月)

再配達削減のために活用をお願いしたい3つのこと

1.



時間帯指定の活用

2.



宅配事業者等が提供している
コミュニケーションツール
(メールやアプリなど)の活用

3.



コンビニ受取や
駅の宅配ロッカーなど
自宅以外での受取方法の活用

相模原市の取り組み

相模原市では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
新しい生活様式「非対面受取」の啓発として
相模原市をイメージした簡易型宅配ボックスの配付を行いました。

【事業概要】

- 応募期間：令和2年11月1日（日）から令和2年12月31日（木）まで
- 配付数：市内在住者に5,000個
- アンケート調査：①応募者を対象に事前アンケートを実施
②配付者を対象に事後アンケートを実施

※簡易型宅配ボックスは、再生ポリエステル素材を使用したOKIPPAを採用。
※事業結果は市ホームページで公開しています。

